

必修領域「知識基盤社会化やグローバル化のなかで望ましい学校教育の在り方を探る」講習概要・時間割

1. 日 時 : 令和3年8月19日(木) 10:00~17:20 (休憩時間を含む)

2. 募集人数 : 40名

3. 講習内容

今日の知識基盤社会化やグローバル化は、アイデアなど知識そのものや人材をめぐる国際競争を一段と加速させる一方で、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性をますます増大させている。学校の抱える教育課題を広い視野で見つめ直し、解決策を先生方と一緒に模索する。具体的には「知識基盤社会における人材育成」「これからの教員に求められる『教職の専門性』」「学校で活かす発達障がい理解と支援のための心理学」「教育施策と生徒指導の在り方」等の事項について、講義と討論形式により教員に求められる最新の知識・技能の習得を目指す。

4. 時間割等(予定)

時限(時間)	講習題目	内容	担当講師等
9:30~10:00	【 受付 】		
1時限目 10:00~11:20	知識基盤社会における人材育成	教育改革の動向を踏まえながら、知的基盤社会において求められる人材育成の在り方を検討します。豊かな創造性を育てる教育、グローバル化にも対応した人材の育成等も視野に入れ、その指導方法について考察し、各校の教育活動の改善に生かせるように考えていきます。	早川 信一 工学部教授
2時限目 11:30~12:50	教員としての子ども観、教育観の省察	新学習指導要領では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、カリキュラム・マネジメントの充実、児童・生徒の発達の支援、家庭や地域との連携・協働が求められています。これらについて概観した後、教員としてどのような子供観や教育観を日々醸成し教育活動にあたってきたかを省察し、これからの教員に求められる資質と能力についてともに考えます。	今井 文俊 商学部教授
12:50~13:40	【 昼休み 】		
3時限目 13:40~15:00	学校で活かす発達障がいの理解と支援のための心理学	現在、学校現場では子どもの発達障がいや虐待による行動の問題への対処に悩むケースが多くみられます。これらの問題に共通の脳の問題や自尊感情の低下の問題に焦点を当て、家庭や学校で起こる問題の要因とその支援の方法について考えます。	吉川 延代 政経学部講師
4時限目 15:10~16:30	教育施策と生徒指導の在り方	近年、いじめ、児童虐待や不登校などの生徒指導にかかわる教育課題に関連した法改正や文科省通知の発出が行われています。こうした制度的枠組みの変更をたどりながら、生徒指導の在り方はどのように変わるのか、今度の方向性も含めて考えていきます。	三木 健詞 政経学部教授
5時限目 16:40~17:20	修了試験(筆記試験)		

※ 各時限の担当講師・内容は変更となる場合があります。

※ 学内定期試験中のため、講習中にチャイムが鳴りますので、ご了承ください。